

平成 21 年 8 月 27 日

各 位

会社名 株式会社村田製作所
(コード:6981、東証・大証 第1部)
代表取締役社長 村田 恒夫
問合せ先 広報部長 大島 幸男
(TEL. 075-955-6786)

会社名 東京電波株式会社
(コード:6900、東証 第1部)
代表取締役社長 橋口 一徳
問合せ先 総務部長 谷田 清昭
(TEL. 03-3751-6172)

株式会社村田製作所と東京電波株式会社の資本・業務提携に関するお知らせ

株式会社村田製作所(以下「村田製作所」と東京電波株式会社(以下「東京電波」)は、本日開催した両社取締役会において、資本・業務提携を行うことを決議し、本提携に関する合意書を締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 資本・業務提携の目的

村田製作所は、主にセラミックスのもつ電気的特性を用いて、独自の材料技術と生産技術を結合させ、一方、東京電波は、人工水晶育成技術と水晶加工実装技術を駆使し、水晶製品の小型・薄型化と高精度化を推進することにより、市場の要求にマッチした、付加価値の高い製品を顧客に提供しております。

村田製作所と東京電波は、東京電波が開発・生産した水晶製品を村田製作所の製品に重要部品として搭載するなど、既に長期にわたる協力関係にあります。さらに、最近では、一般的な水晶発振子と比べ安価でセラミック発振子よりも高い周波数精度の水晶発振子「HCR[®]」を共同開発し、東京電波から供給される水晶素子を使用して村田製作所が HCR[®]を生産・販売する業務提携を行っております。

この度の資本・業務提携により、両社は、従来からの協力関係をさらに発展させ、両社の強みを融合した付加価値の高い製品を各々の顧客に対し迅速に提供する体制を強化し、両社の企業価値の向上を図ってまいります。

2. 資本・業務提携の内容

村田製作所と東京電波は、HCR[®]及びその次世代品開発ならびにそれらのマーケティング等に関し、以下に定める内容において相互に協力して業務を遂行していくことで基本合意しております。

- (1) 両社で共同開発した水晶発振子「HCR[®]」に関して、東京電波から村田製作所への水晶素子の安定的な供給と、品質・コストの改善のための生産面での相互協力を継続すること。
- (2) 小型化品、周波数高精度品といった付加価値の高い水晶発振子「HCR[®]」の次世代品を共同で開発し、両社が協力して生産・販売体制を構築していくこと。
- (3) 共同でマーケティング活動を行うことにより、新たな顧客ニーズを発掘し、そのニーズを満たす製品を両社が相互に連携して開発・生産・販売していくこと。

〔第三者割当による新株式発行〕

- | | |
|------------|----------------------------------|
| ① 発行新株式数 | 普通株式 1,000,000 株 |
| ② 発行価額 | 1 株につき金 664 円 |
| ③ 発行価額の総額 | 664,000,000 円 |
| ④ 申込期間 | 平成 21 年9月7日(月)～平成 21 年9月 14 日(月) |
| ⑤ 払込期日 | 平成 21 年9月 15 日(火) |
| ⑥ 割当先及び株式数 | 村田製作所 1,000,000 株 |

3. 各社の概要(平成 21 年3月 31 日現在、連結)

(1)商号	株式会社村田製作所	東京電波株式会社
(2)主な事業内容	ファンクショナルセラミックスをベースとした電子デバイスの研究開発・生産・販売	水晶振動子、水晶発振器、人工水晶、電子機器、酸化亜鉛単結晶の製造・販売
(3)本社所在地	京都府長岡京市東神足1-10-1	東京都大田区中央5-6-11
(4)資本金	69,377 百万円	3,371 百万円
(5)従業員数	33,431 名	719 名

4. 資金使途

新株式発行により東京電波が村田製作所から調達する資金は、主に本資本・業務提携に関連する製品開発費用、設備投資資金として使用する予定です。なお、それらに充当しても残額が生じた場合には、その他の事業に係る研究開発費用、設備投資、財務体質強化のための資金等として使用いたします。

5. 両社の業績に与える影響について

本件により、両社の業務提携を加速させ、事業の強化、充実、発展に努めて、積極的な事業展開を推進することにより、中長期的に企業価値、株主価値、業績の向上がつながるものと考えております。

なお、当期の業績に与える影響につきましては、今後の事業を進めていく中で適宜お知らせいたします。

以上